

令和２年度の主な事業報告

社会福祉法人王寺町社会福祉協議会

社会福祉事業

令和２年度事業計画に基づき、それぞれの重点目標に従って、住民・福祉関係者・行政機関の合意形成・調整の場をつくり、地域のさまざまな課題や住民のニーズに対応したまちづくりに取り組んできました。また、住民、関係機関等が連携、協働し、誰もが安全に、安心して暮らすことのできる地域福祉を実現させるため、「第１期王寺町地域福祉活動計画」を引き継ぐ形で、「第２期王寺町地域福祉計画・地域福祉活動計画」を王寺町役場と一体的に策定いたしました。

１．高齢化社会への対応の強化

- (１) 生きがいと仲間づくりとして実施されているクラブ活動においては、老人福祉センターで１３、老人憩の家「片岡の家」で１５、合計２８クラブの方々が音楽・体操・踊り等により充実した時間を過ごされました。
- (２) 見守りの頻度が少ない独居、かつ介護保険サービス等の公的サービスを使用していない方を対象に、介護福祉士・ヘルパー資格のある会計年度任用職員が、地域住民や民生児童委員からの協力により、生活状況の聞き取り・確認を行い、他機関・多職種との連携による包括的な支援の輪により、適切なサービスへとつないでいます。

〔実人数１８８人：訪問回数４２０回・電話３４２回〕

また、文化福祉センターで、介護予防についての相談会を開催しました。

〔年６回：１６件（電話相談を含む）〕

- (３) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）として、判断能力に不安のある方の公的手続きの支援や金銭管理の援助等を行いました。

2. サロン活動の推進

令和2年度は新型コロナウイルスでお休みされるサロンも少なくありませんでしたが、「サロンやすらぎ」協力のもと、文化福祉センター、片岡の家、やわらぎ会館の3か所でサロンを開催しました。現在、自治会単位のサロンが13か所あり、助成金の交付をするなどサロン活動の推進、維持に努めるとともに、感染症予防の対策をとったうえで活動再開ができるように運営支援を行いました。

3. ボランティア活動の推進拡大

自分たちの住んでいる地域を明るく、住みよくするためにどうしたらよいのかを考え、学び、共に生きる社会をつくるために、すすんで行動することをボランティアといいます。社会福祉協議会では地域のボランティア活動を推進していくための支援を行いました。

○ボランティア保険

・ボランティア活動保険加入事務	11件	113人
・ボランティア行事用保険加入事務	1件	50人

4. 福祉関係団体の健全育成

福祉関係団体の健全運営を助成し、自主活動・自主運営を推進しました。

5. 広報活動の強化及び会員の増強

地域における福祉活動推進の中核となる社会福祉協議会が地域に密着した福祉活動を安定して推進できるよう、財政基盤を強化し、地域住民の福祉ニーズに応えるため、関係法人に特別会員として社会福祉活動に参加していただくようお願いし、また、自治会を通じ、賛助会員の加入・会費納入の協力について呼びかけを行いました。

正 会 員	2 1 人（理事・監事、評議員）
特別会員	4 社
賛助会員	自治会
合 計	1, 1 8 8, 6 0 0 円

6. たすけあい活動の推進

（1）共同募金運動

地域及び在宅福祉の強化を目的に、10月1日から全国一斉に実施され、王寺町でも自治連合会、民生児童委員協議会及び各種団体の協力を得て街頭募金、戸別募金により募金活動を展開し、多くの方々から善意ある寄附をいただきました。

令和2年度	目標額	1, 5 1 7, 0 0 0 円
	募金総額	1, 5 7 3, 6 3 1 円
	配分金	8 5 6, 6 3 1 円（R3 受入）

（2）歳末たすけあい募金運動

自治連合会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会をはじめ各種団体の協力により街頭募金活動等を展開し、多くの方々の温かい善意が寄せられ、歳末訪問金・見舞品として該当者に配付しました。

＝令和2年度 歳末たすけあい募金 活動実績＝

◎募金総額	3 8 1, 4 3 7 円
内訳	
街頭募金	1 9, 2 8 2 円
各種団体等	3 3 7, 8 6 5 円
カレンダーバザー	2 4, 2 9 0 円

◎歳末たすけあい事業 796,054円

街頭募金用資材 15,400円

準要保護家庭歳末訪問金

99世帯（対象の子207人） 621,000円

ひとり暮らし高齢者歳末お見舞い 159,654円

7. 生活福祉資金の貸付・生活困窮者相談

低所得世帯を対象とした教育支援資金、失業による生活困窮世帯に対し、再就職までの間の自立を支援する臨時特例つなぎ資金等、各種生活福祉資金の相談や申込み等の業務を行いました。また新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等により生活費が減少した方に対し、相談支援及び貸付を実施しました。

		相談件数	貸付件数
緊急小口資金（特例）		318件	107件
総合支援資金 （特例）	初回貸付		84件
	延長貸付		40件
	再貸付		16件
総合支援資金		0件	0件
福祉資金		5件	0件
教育支援資金		2件	1件
不動産担保型生活資金		0件	0件
緊急小口資金		4件	4件
臨時特例つなぎ資金		1件	1件
その他		26件	0件

8. やわらぎ金庫資金の貸付・フードレスキュー

緊急・臨時的に生活資金を必要とする低所得世帯に対して、その自立を支援することを目的に、独自の貸付を行いました。また緊急の食糧支援を必要とされている方にはフードレスキュー事業を行いました。

	相談件数	貸付件数
やわらぎ金庫資金	5 件	4 件
フードレスキュー対応件数	1 7 件	1 7 件

9. 物品貸出し業務

車椅子を要介護者の外出や学生への福祉教育等の用途で貸し出しています。また、綿菓子機・ポップコーン機・みたらし団子機・鉄板台等は、自治会・子ども会などの催し時に幅広く活用いただいています。

貸出品	綿菓子機	ポップコーン機	輪投げ	みたらし団子機 たこ焼き機
件 数	1	1	4	0
貸出品	氷かき機	鉄 板 台	車椅子	合計
件 数	3	0	2 8	3 7

10. 心配ごと相談所の開設

別添「令和2年度 王寺町心配ごと相談所 事業結果」を参照

1 1. その他

(1) 老人福祉センター等管理・運営

老人福祉センター・老人憩の家「片岡の家」は、多くの高齢者の方々の憩いの場として、気軽に楽しく安心してご利用いただける地域福祉推進の拠点として、適正な運営に努めています。

＝令和２年度 老人福祉センター等利用状況＝ (人)

	個人利用者	団体利用者	計
老人福祉センター	4,084 (5,171)	516 (2,375)	4,600 (7,546)
老人憩の家「片岡の家」	2,065 (2,266)	1,681 (2,440)	3,746 (4,706)

※ () 内はR1年度利用者数

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い文化福祉センター・片岡の家ともにR2年3月2日～R2年5月31日まで休館

※文化福祉センターのボイラーが破損したためR2年6月1日～R2年7月12日まで浴場利用を中止

※文化福祉センター空調工事の為、R3年3月1日～R3年4月5日まで休館

(2) 「我が事・丸ごと」の地域づくり

国庫補助事業である「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業を王寺町社会福祉協議会が受託、サロン等の集う場を中心に多様な相談を「丸ごと」受け止め適切な解決法につなぐ相談体制づくりや、他人事になりがちな地域の困りごと解決を「我が事」として地域住民が主体的に取り組む意識づくりを行っています。

(3) 苦情受付処理に関すること

・苦情受付体制 受付担当者 1名 解決責任者 1名 第三者委員 3名

・苦情受付件数 0件

公益事業	なし
収益事業	なし

王寺町心配ごと相談所事業結果

◎ 開設期間 令和2年4月～令和3年3月
(毎週月曜日13:00～15:00)

◎ 開設日数 40 日

◎ 相談員延人数 164 人

◎ 相談件数 13 件

◎ 相談種別及び処理状況 別 紙

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、4月20日～5月31日まで閉設

相談種別及び処理状況別件数

		取扱 延件数	処 理 状 況				電話相談 延 件 数 (左の 内)
			直ちに 解 決	再来を 要する	他機関 を紹介	その他	
1	生 計						
2	年 金						
3	職業・生業	2			1	1	1
4	住 宅	2			1	1	
5	家 族	1				1	
6	結 婚	1			1		
7	離 婚						
8	健康・衛生						
9	医 療						
10	精神・衛生	2			2		2
11	人権・法律	1				1	
12	財 産						
13	事 故						
14	児童福祉母子医療						
15	教育・青少年						
16	心身障害福祉						
17	母子福祉・父子福祉						
18	老人福祉	1			1		
19	苦 情						
20	そ の 他	3			2	1	1
合 計		13	0	0	8	5	4